



第17回消防防災研究講演会

大規模・特殊災害時における現場対応と消防科学技術の役割
～今後の首都直下・南海トラフ地震への対応について～

消防研究センター

※**会場変更のお知らせ** 前号（「消防の動き」11月号）では、会場を「消防研究センター 本館 大会議室」としておりましたが、「**日本橋公会堂 ホール**」に変更となりました。

消防研究センターでは、これまで十勝沖地震における石油タンク全面火災、新潟県中越地震による斜面災害現場、東日本大震災におけるコンビナート火災現場などにおいて、科学的知見に基づいたデータや助言などを提供し、災害収束のための応急対応を消防本部や事業所などとともに行ってきました。講演会では、当時の現場活動の状況に関係機関担当者らによって改めてレビューし、これらの経験を踏まえて、今後様々な災害を引き起こすことが指摘されている首都直下・南海トラフ地震での応急対応について議論します。

【主催】 消防庁 消防研究センター

【日時】 平成26年1月31日（金）

10：00～17：20

【会場】 日本橋公会堂 4階 ホール

（東京都中央区日本橋蛸殻町1-31-1

日本橋区民センター内）

【定員】 400名程度

【参加費】 無料

【プログラム】（予定）

【開会】 10:00～10:10

挨拶・趣旨説明：山田 實（消防研究センター）

【基調講演】 10:10～10:40

- ①「大規模地震災害に対する消防防災技術のあり方」
亀井浅道（横浜国立大学）

【消防庁の対応】 10:40～11:10

- ②「震災時等における危険物の仮貯蔵・仮取扱いについて」
鈴木康幸（消防庁危険物保安室）

【対応事例】 11:10～12:10

- ③「2004年新潟県中越地震の土砂災害現場における技術支援」
新井場公徳（消防研究センター）

- ④「新潟県南魚沼市で発生したトンネル爆発事故の現場活動支援」
尾川義雄（消防研究センター）

【休憩】 12:10～13:10

【対応事例】 13:10～14:40

- ⑤「石油タンク浮き屋根沈没と全面火災への対応」
西 晴樹（消防研究センター）

- ⑥「ガスタンク火災（東日本大震災）（仮題）」
中村康之（市原市消防局）

- ⑦「東日本大震災における石油コンビナート地域の火災対応」

大友昭一（塩釜地区消防事務組合消防本部）

【休憩】 14:40～14:55

【今後のための取り組み】 14:55～16:55

- ⑧「危険物施設がかかえる課題と今後」
山田 實（消防研究センター）

- ⑨「石油タンクの地震・津波被害予測-何がどこまでできるか?-」
畑山 健（消防研究センター）

- ⑩「石油タンク火災の泡消火効率の改善に関する検討」
内藤浩由（消防研究センター）

- ⑪「震災時の消防活動におけるロボット技術の活用」
天野久徳（消防研究センター）

【総合討論（質疑応答）】 16:55～17:15

【閉会】 17:15～17:20

挨拶：山田常圭（消防研究センター）

[申し込み方法]

次の4項目を明記の上、件名を「講演会参加」として
電子メールにてお申し込みください。

- (1) 住所（都道府県のみ）
- (2) 所属
- (3) 氏名（複数名でお申し込みの場合は代表者氏名）
- (4) お申し込み人数

[申し込み先]

E-mail: kouen17@fri.go.jp

※電話・FAXでのお申し込みは受け付けません。

[申し込み期間]

平成25年12月16日(月)正午～平成26年1月10日(金)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

先着順での受け付けとなりますが、短期間に定員を大幅に超えるお申し込みがあった場合、個別に参加

人数の調整をお願いすることがあります。

※上記期間外の申し込みは無効となります。

なお、お申し込みいただきました場合、ご参加の可否を返信いたします。

参加券等の発行はいたしません。

事務局からの返信をもちまして、ご参加いただけることの確認といたします。

お申し込み後1週間経っても返信がない場合は、お手数ですが下記へ必ずお問い合わせください。

問い合わせ先

消防庁消防研究センター 研究企画室

E-mail: toiawase2013@fri.go.jp

TEL: 0422-44-8331（代表）

※詳しい情報については消防研究センターホームページにてご確認ください。

URL: <http://nrifd.fdma.go.jp/>



津波タンク被害



十勝沖地震でのタンク火災